

## 議会役員改選行われる

5月16, 17日の臨時議会で、恒例の議会役員選挙が行なわれました。本会議での投票の結果、議長には山本孝氏（新政会・4期）、副議長には大西克美氏（市政研・2期）が選ばれました。また監査委員には小島巧也氏（緑風会・2期）が選出されました。

今回の役選は淡々とすすみ、会派の移動や分裂などもなく「平穩に」行なわれました。また、特別委員会は「新エネルギー問題」「地震対策」「議会改革」の3委員会が設置されました。私は「総合計画特別委員会」の存続を主張したのですが、これは1年でなくなり、代わって「議会改革特別委員会」が新設されました。来年1月から新庁舎の議場へ移ることから、議会運営の方法を検討することを目的としたものです。

### 日本共産党市議団の本年度の所属委員会

石田 秀三 生活産業常任委員会・議会改革特別委員会  
社会福祉協議会理事  
森川ヤスエ 総務常任委員会・地震対策特別委員会  
国民健康保険運営協議会委員

#### 鈴鹿市議会 6月定例議会のご案内

7日開会 本会議	13～15日 本会議 一般質問
17日 本会議 議案質疑	20～21日 各委員会
24日閉会 本会議	

一般質問の日はCNS20チャンネルで実況中継されます。

ご意見や連絡は、Eメール [ [jcp-suz@mecha.ne.jp](mailto:jcp-suz@mecha.ne.jp) ]

ホームページは [ <http://www.jcp-mie.jp/ishida/> ]

# 国保人間ドック、全員に受けさせて

国民健康保険の人間ドック事業が、5月13日までの受付期間に2000人を超える申し込みがあり、定員1500人を大きく上回りました。定員オーバーの場合は「抽選」となり、受けられない人が多くできます。

人間ドックは毎年受けて、自分の体がどうなっているのか、変化があるのかを見ることが大切です。役所の都合で受けられたり受けられなかったりでは、その目的にも合わなくなります。もし受けられなかった人が、ガンの早期発見が遅れてしまったという事態になっては大変です。

私は担当課に、希望者全員が受けられるように工夫すること、抽選で外れた人にも今年の中で「復活」の機会をつくること、を申し入れました。もともと医療保険は「出来高払い」で行なわれていて、受診を定員で断ることはありません。人間ドックも同様に考えれば、予算上の定員にこだわって、受診を希望する人を断るのは不合理なことです。

---

## 三重赤旗まつり、だんごを焼く

5月22日、津市のお城西公園で恒例の「三重赤旗まつり」が行なわれ、県内各地から2000人が集まりました。昨年は右翼団体の会場乱入という事件があり大変でしたが、今年は警察も反省して右翼の車を会場に近づけないようにしたので、平穩にまつりを楽しむことができました。

わが鈴鹿西部後援会は、毎回「みたらしだんご」と[古本]の店を出していますが、今年もみたらし800本を完売、1冊50円、100円と超安値の古本もたくさん売れました。店の位置もメイン舞台の正面で、商売しながら舞台を楽しめて「一石二鳥」でした。

佐々木憲昭衆議院議員が、国会での「二大政党」のひどい状況を報告し、国民いじめの悪政の競い合いをストップするために、日本共産党の前進をとったえました。少ない国会議員団で大奮闘の佐々木さん、もう少し楽に活動してもらうためには、議員を増やすしかありません。

岐阜からやってきた「笠木透と雑花塾」は、平和と憲法を高らかに歌い上げるステージで、降り出した小雨をはねかえす堂々とした歌声でした。

この日あった南勢町の町長選挙で、共産党も推す「合併反対」の候補が大逆転の当選、「民主主義」とはまさに「住民が主人公」なのだということを示す結果でした。

# 市長の資産公開、分かりやすく改善

市長の資産公開が毎年行なわれていますが、5月19日に昨年分が公表されました。今回の公表から、次の部分が変わりました。

借入金 取得なし(-1,168,567円)

昨年まではこのカッコ部分がありませんでした。川岸市長は2年前の就任時点で借入金が19,913,699円と報告されていますが、その後「増えた」ときは報告するが、「減った」ときの報告はしないという方式でした。他の資産も、増えたものだけが報告されていました。

「このやり方では、正しい情報を市民が得られないではないか」と、私が昨年12月議会で問題にして、市長が改善を約束していたものです。借入金が増えたということは、資産が増えたのと同じですから、今回のような報告が正しい姿だということです。

---

## 「九条の会」の活動広げよう

「九条の会すずか」が発足して、第1回目の学習会「憲法ここが好き」が、5月17日にありました。4人の方が今の憲法のいいところを、それぞれの切り口で話され、学校の授業のように楽しく勉強できました。

引き続き学習会が計画されていますので、紹介します。

7月10日(日)1時半 「戦争体験を聞く」 ジェフリー鈴鹿にて

8月 7日(日)1時半 「被爆体験を聞く」 文化会館第1研修室にて

---

## 意気軒昂！市役所OB会の総会

5月24日、市役所職員のOB会「同友会」の総会が椿会館でありました。参加者は会場いっぱいの150人と、壮観です。皆さんも現役時代よりも元気そうで、懇親会は盛り上がっていました。

私と延べ18年、議会で論戦を交わしたOBも多く、「あんたらの議論はスジが通っているでいい」「なんでも民間でというのは間違い」「国保税は高すぎる」「もっと人づくりに手間をかけるように、がんばって言ってくれ」などと、率直な意見も多くいただきました。

## 「数」の歴史と文化

私は昔から数学が苦手で、特に高校あたりからはお手上げ状態であった。それでも加減乗除の計算はマスターしているので、日常生活にはさほど不便はきたしていない。しかし最近、コンピュータにさわらないと仕事にならないような時代となってきて、再び数学コンプレックスに頭を痛めている。コンピュータの基本原理である「二進法」というのが分からないから、その先の話が分からない。いちおう理屈は分かって、体が受け付けない。

### 数字はインドからアラビア経由ヨーロッパへ

「零の発見」という岩波新書の戦前からのロングセラーは、私のような数学が苦手な人のために書かれた入門書である。これを読むと、いま我々が当たり前のように使っている数字の、奥深い歴史が少しは分かる。

1, 2, 3、という数字は「アラビア数字」と呼ばれるが、その元は8世紀にインドからアラビアに伝わったものである。インド記数法によれば、ただ10個の数字を用いるだけで、あらゆる自然数を自由に書き表わすことができる。これはエジプトやローマ、ギリシャで使われていたやっかいな記数法とくらべて、画期的なことであった。

このインド記数法がヨーロッパに伝わるのは、キリスト教徒のエルサレム巡礼、サラセン帝国のスペイン征服、さらに十字軍の遠征という東西文化の交流の中からであるが。しかし、実際にインド記数法が日常的に使われるようになったのは、なんと13世紀末であり、今のような筆算法が完成したのは、紙の普及と印刷術の発明をへた後の15世紀、小数の発明が16世紀末というように、とても長い時間がかかっている。このように見れば、数字は人類がはぐくんだ貴重な文化遺産とも言える。

いま我々が、大きな桁の掛け算や割り算を鉛筆1本で出来る、兆という大きな数字をだれでも読むことが出来るのは、大昔のインドの無名の天才のおかげである。また今日の科学文明の発展は、バグダットから文化と共に発信されたアラビア数字なくしては不可能であったと言える。

数学が文化として、生活の中に歴史の中に生きていることを学校で教えたら、私のような数学アレルギーは減っていくのではないだろうか。